

## 教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

1 種目 国語

2 報告概要

教科書名 出版社名	特徴
新編 新 しい国語  東京書籍	<p><b>（1）言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質能力を育成できる内容であるか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元末に「てびき」「言葉の力」があり、掲載学習の見通しから振り返りまでの流れが一覧できる。生徒の主体的な学びが展開できるような工夫がされている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では、教材の目標と学習の流れ、振り返りが提示されている。学習する内容を生徒が意識できるような学習の流れとなっている。また「言葉の力」では、生徒に意識させたい観点や視点が書かれており、生徒が学習に臨みやすいようになっている。</li> </ul> <p><b>（2）内容の程度や学年間の関連が心身の発達に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書きおろし作品が多く、現代に生きる生徒の生活や、興味関心に適する配慮がなされている。デジタルコンテンツがまとまっていて、学年間の関連も確認できるように配慮されている。</li> <li>・巻頭「未来の扉」では「未来を考えるための9つのテーマ」が示されている。それぞれの学習において9つのテーマについて深めてみようとするが、各教材には書かれておらず、巻末にまとめられている。学習のまとめとして、生徒が学んできたことを生かして考えられるような工夫がされている。</li> <li>・言語活動の題材として、日常生活・社会生活に関わるものが取り上げられている。</li> <li>・話すこと・聞くこと→1年…インタビュー、スピーチ、グループディスカッション 2年…意見と根拠の聞き方、プレゼンテーション、話し合い 3年…提案の聞き方、条件スピーチ、合意形成を目指す話し合い</li> <li>・書くこと→1年…詩の創作、「食文化」のレポート、案内や報告の文章、「写真」の意見文 2年…短歌の創作、「地域の魅力」紹介文、依頼状とお礼状、「地図」の意見文 3年…俳句の創作と句会、「環境」の新聞、「広告」の批評文、時を超える手紙</li> <li>・読むこと→1年…図表が用いられた記録文（「私のタンポポ研究」） 2年…同じテーマについて異なる視点から論じられた評論文（「黄金の扇風機」「サハラ砂漠の茶会」） 3年…論説文を批判的に読む（「受け取る「利他」」）</li> <li>・本の付き合い方として、現代に活躍する著名人の本を紹介しながら、「読書」の教材や読書案内がされている。3年間で326冊の本が付されている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルコンテンツ一覧が載っており、家庭での予習や復習などに利用しやすい工夫がされている。</li> <li>SDGsを意識した独自の視点で「未来への扉」が巻頭に掲載されている。</li> <li>「未来を考えるための9つのテーマ」が書かれている。しかし、各教材がどのテーマに関わっているのかが記されておらず、巻末に一覧が掲載されている。各学年の巻末に1つのテーマについて取り上げられていて、考えるような形となっている。</li> </ul> <p><b>(3) 【知識及び技能】及び【思考力、判断力、表現力等】の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の構成配列が適切であり、自主的な学習が進められるように配慮されているか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「話すこと・聞くこと」学習の流れや思考ツール、活動の具体例などがQRコードを読みとることで視覚的に捉えることができる。また、動画と教科書の学習の手順とがリンクしており、学習活動の一助となっている。しかし、デジタルコンテンツを開いてみると、どんな内容なのかがわからず使いにくい。</li> <li>現代的な諸課題が、数多くの教材で取り扱われている。</li> </ul> <p><b>(4) 文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>領域ごとに色分けされていて、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。色合いも優しい色合いで統一されている。</li> <li>古典の単元においては、現代語訳や歴史的仮名遣いの違いが視覚的に捉えやすいように色分けされており、ユニバーサルデザイン的な配慮がなされている。</li> </ul>
<p>現代の国語</p> <p>三省堂</p>	<p><b>(1) 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質能力を育成できる内容であるか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思考ツールが巻頭に一覧で掲載されている。その思考ツールをどの教材でしようするかについて記載されていてわかりやすい。キャラクターも使われていて生徒がより身近に感じられるようなつくりになっている。</li> <li>各単元で「学びの道しるべ」が示され、生徒が学習の見通しをもちやすい工夫がされている。</li> <li>単元ごとに設定されている「語彙を豊かに」では、語や適切な表現についてまとめて示され、生徒が活用しやすい工夫がなされている。</li> <li>説明的な文章の学習においては、基本構造が図解によって明確に示され、生徒が構造を視覚的に捉えることができるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>(2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言語活動の題材として、生徒の興味・関心を喚起し、日常生活・社会生活に関わるものが取り上げられている。</li> </ul> <p>「話すこと・聞くこと」→1年…グループディスカッション、日常生活の出来事を話題としたスピーチ等  2年…グループディスカッション、プレゼンテーション等  3年…グループディスカッション、パブリックスピーキング等</p> <p>「書くこと」→1年…レポート、随筆等  2年…手紙、短歌、俳句、情報を関連付け根拠を明確に示した投稿文等</p>

	<p>3年…条件に応じた課題作文、観察・分析を通じた批評文等  「読むこと」→1年…図表が用いられた説明文（「クジラの飲み水」）  2年…図表が用いられた論説文（「100年後の水を守る」）  3年…科学と社会の関係についての論説（「フロン規制の物語」）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に100ページ以上の「資料編」が付いている。古文の単元の最後には年表が付いていて、学年間の関連が配慮されている。漫画で説明した部分や歌の歌詞のページもあり、親しみやすい。</li> <li>・巻末の「読み方を学ぼう」では、文章をより深く読むための重点項目について一覧で示され、3年間を通してどのように読み方を学んでいくのかを生徒が捉えやすい工夫がされている。</li> <li>・「読書」の教材や読書案内が付いている。3年間で374冊の本が紹介されている。</li> </ul> <p><b>(3) 【知識及び技能】及び【思考力、判断力、表現力等】の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の構成配列が適切であり、自主的な学習が進められるように配慮されているか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なジャンルや年代の教材がバランスよく配列されている。</li> <li>・様々な現代的な諸課題が数多くの教材で取り扱われている。</li> </ul> <p><b>(4) 文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章は明朝体、説明はゴシック体、古文や短歌俳句は教科書体などと、様々なフォントが使い分けられている。特に文や短歌、俳句の部分は余白も多く、注目させるように作られている。</li> <li>・古典の単元においては、現代語訳や歴史的仮名遣いの違いが視覚的に捉えやすいように色分けされており、ユニバーサルデザイン的な配慮がなされている。</li> </ul>
<p>伝え合う 言葉 中 学国語  教育出版</p>	<p><b>(1) 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質能力を育成できる内容であるか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して学ぶ内容と身につけたい能力について記載されており、学習内容の見通しができるようになっている。</li> <li>・「学びナビ」のコーナーが教材文の前に書かれていることにより、教材を通して何を学ぶかがわかるようになっている。また、その学習後の教材がどう関連していくのかも明示されていて、教材の繋がりがわかるようになっている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では、「学習活動の流れ」を掲載して、どのように学べばよいかを示している。</li> </ul> <p><b>(2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親しみやすいイラストのキャラクターを用いて生徒の視点に立った疑問や発想が示されており、生徒の思考を学習内容につなげる工夫がされている。</li> </ul> <p>「話すこと・聞くこと」→1年：お気に入りの一品を紹介する、構成を考えて話す調べた内容を聞く等  2年：課題を設定して伝える、討論をする等  3年：情報を確かめてスピーチをする、構成を工夫して主張をまとめる、評価しながらスピーチを聞く等</p> <p>「書くこと」→1年：資料をもとに紹介文を書く、材料を整理して案内文を書く、根拠</p>

	<p>を明確にして意見文を書く等</p> <p>2年：新聞の投書を書く、構成を明確にして説明文を書く等</p> <p>3年：客観性や信頼性のある記事を書く、説得力のある批評文を書く、自己PR文を書く等</p> <p>「読むこと」→1年：大きい写真や図が用いられた文章（「森には魔法使いがいる」「昔話と古典」）</p> <p>2年：現代的な諸課題を取り上げた数多くの教材（「持続可能な未来を作るために」「水の山 富士山」等）</p> <p>3年：現代的な諸課題を取り上げた数多くの教材（「持続可能な未来を作るために」「AIは哲学できるか」等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読書」の教材や読書案内が付されている。3年間で307冊の本が紹介されている。</li> <li>・SDGs教材「持続可能な未来を作るために」を各学年に掲載し、生徒が自ら課題を発見し、問いに向き合い、考えを深められる工夫がされている。</li> </ul> <p><b>（3）〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるように配慮されているか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルコンテンツ「学びリンク」があるが、教科書の下の方にありわかりにくい。さらにそのデジタルコンテンツがどういったものなのか、QRコードを読み取らないとわからない。</li> <li>・「学びナビ」が教材文の前にある。「学びナビ」では、単元目標が解説されているので、生徒は学習内容をイメージしてから教材文を読むことができる。</li> <li>・SDGsの視点から全学年、各領域で扱う教材や話題を設定している。</li> </ul> <p><b>（4）文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学作品や詩歌は挿絵を用意しない、あるいは線の細い控えめなものになっている。それに対して説明文や古典は写真が大きく掲載されていて、理解を助けるものになっている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮していて、色が見やすくなっている。教科書の色も学年ごとに統一されている。フォントも文章や説明ごとに使い分けられ、すべてユニバーサルデザインフォントが使用されている。</li> </ul>
<p>国語</p> <p>光村図書</p>	<p><b>（1）言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質能力を育成できる内容であるか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びのカギ」が単元ごとにあり、各領域の基本的な観点がまとめている。各領域で身につけたい資質・能力がわかりやすい。また、系統性や他教材との繋がりがわかりやすいように、タグづけされている。</li> <li>・QRコード「学びの地図」を活用できるようになっており、全学年で各領域の学習内容を一覧することができる。</li> <li>・「学びへの扉」の横書きの部分は見通しがつけやすく、生徒それぞれの理解度に合わせ、徐々に考えを深められるようになっている。また、「学びへの扉」で学習内容が焦点化されており、身につけさせたい資質・能力を生徒に理解させやすく、はっきり伝わる。</li> </ul>

・各学年の巻頭に「思考の地図」という見開きがあり、場面や目的に応じたさまざまな思考法が紹介されている。課題解決能力を高めたり考えを深化させたりするために有効である。

**(2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。**

・主に1学年の教科書では小学校での学習内容を想起させる文言が組み込まれていたり、小学校での活動内容との関わりを想定した学習活動が仕込まれていたり、小中の円滑な接続のために工夫されている。

・現代で活躍する作家の文章も登場していて生徒の興味関心が沸きやすくなっている。また、定評のある教材が掲載されておりバランスが良い。読書案内の数も多い。他教科と関連する教材も多く掲載されている。

「話すこと・聞くこと」→1年：話の構成を工夫しよう、聞き上手になろう、話題や展開を捉えて話し合おう等

2年：魅力的な提案をしよう、立場を尊重して話し合おう、聞き上手になろう等

3年：説得力のある構成を考えよう、合意形成に向けて話し合おう等

「書くこと」→1年：情報を整理して説明しよう、根拠を明確にして書こう、構成や描写を工夫して書こう等

2年：情報を整理して伝えよう、適切な根拠を選んで書こう、描写を工夫して書こう等

3年：論理の展開を意識して書こう、考えを効果的に伝えよう等

「読むこと」→1年：図表が用いられた記録文（「言葉をもつ鳥、シジュウカラ」「不便」の価値を見つめ直す」等）

2年：同じテーマについて、異なる視点から論じられた評論文・解説、文の比較（「君は「最後の晩餐」を知っているか」「最後の晩餐」の新しさ）等

3年：批判的に読んで考えを深める文章（「報道文を比較して読もう」「複数の意見を読んで、考えよう」等）

・「読書」の教材や読書案内が付されている。3年間で375冊の本が紹介されている。

・SDGs（持続可能な開発目標）に関連するテーマを幅広く取り上げていて、「学習の見通しをもとう」という見開きページで関連する教材がひと目でわかる一覧表になって示されている。

**(3) 【知識及び技能】及び【思考力、判断力、表現力等】の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるように配慮されているか。**

・教材数が3学年合計で70と多い。なかでもA領域とC領域の内容が細やかで、充実している。

・単元ごとに、はじめに学習活動や目標が明確に示され、生徒が学習を進める上で有効に活用できる。

・デジタルコンテンツが多く、漢字ワークシートや生徒が操作しながら学ぶことのできる文法ワークがあり、生徒が興味関心を持って主体的に学べる工夫が施されている。

・巻末にICT活用のヒントが載っていて、活用場面や方法が一覧で確認できる。

	<ul style="list-style-type: none"><li>・「語彙ブック」はページが小さくなっていて、必要な時にすぐに開いて使うことができる。また、デジタルコンテンツで小学校と中1、中2の語彙ブックにもさかのぼることができる。</li></ul> <p><b>(4) 文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・詩や短歌など言葉を吟味させたい単元には挿絵がなく、言葉に注目させる作りになっている。また、具体的な場面を想定させる挿絵を入れて、生徒にイメージしやすくさせる工夫が施されている。挿絵のメリハリが付いていて、バランスが良い。</li><li>・カラーユニバーサルデザインや学習のユニバーサルデザイン、防災教育などへの配慮がなされている。</li><li>・教材の後の「学びへの扉」は横書きのデザインになっていて、学習内容の見通しが持てるように設計されている。また、生徒が自己評価や振り返りを行う際にも有効である。</li></ul>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------